

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年9月18日(20:25~20:38)
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	西森 栗国 客 山中(常勤) 渡部 林 久 米
-------------------	------	-------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	1人	人	11人

前回の改善計画	利用開始日にセンター方式に情報を書きこむ時間を作る 日々リーダーを置き、業務の調整を行い、ミニカンファレンスをする時間を設定する
前回の改善計画に対する取組み結果	センター方式の活用はほとんどできていない。新規利用時の活用を定着させたい。 リーダー制は定着しつつあるが、連絡体制など不十分。ミニカンファの開催頻度は上がっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	1		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	5	2		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	4		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>送迎時や訪問時・連絡ノートなどで家族の話を開き情報を得る ミーティング、ミニカンファなどで発信している 管理者・ケアマネを通じて情報共有されている 声かけや気遣いはできている 事前にシートでの情報共有が出来ている 家族からの電話やメールなどケアマネを中心に情報交換できている 以前よりもミニカンファの時間がとれるようになっている</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>情報共有には至らない職員もいる(利用者やゆっくり関わる時間が無い) 用紙での情報収集になり不十分なことがある(しっかりと申し送りできていない) ミーティング時期から離れた時に新規利用となると情報がうまく伝わらないことがある(急な利用等で情報が伝わっていないことがある、ミニカンファができていない) 情報の記録が不十分なことがある(与えられる情報を待つ傾向にある) ニーズに対し対応出来かねることに対しての詰めができていない(時間・人手不足) 個々の対応に差があり業務をこなすだけになっていることがある(スタッフ間のスキルの差や考え方の温度差がある) 新規利用が重なる時は情報が遅れて発信されることがある(窓口がケアマネであり勤務時間の問題や通常業務でケアマネの時間がとれない) 話し合いはできても実行に移せない事が多い(計画が具体的でない、実行可能ではない) 書面と口頭両方での申し送りや情報発信がないと細かいニュアンスが伝えわりにくい(情報量が少ない) 利用中に得た情報の申し送りが出来ていない(ミーティングや申し送りでは伝わらないことがある)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
リーダー制の定着：ミニカンファの開催、新規利用開始時のセンター方式による情報収集は、リーダー采配で担当者を決めて実践する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年9月18日(20:38~20:53)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 西森 栗国 客 山中(常勤) 渡部 林 久 米

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	8人	2人	11人

前回の改善計画	「～したい」の実現の為に計画を早く立ててシフトの調整をする ニヤリホットノートを復活させる
前回の改善計画に対する取組み結果	計画的なシフトの調整は2回ほどできたが、利用状況の変更などで、実践できなかったこともあった。 ニヤリホットノートはほとんど活用できなかった。(存在を知らない職員もいた)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		7	4		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	4		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	10		11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	9		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること イチゴ狩りやそうめん流しなど季節に応じた外出を支援している ゴールやアクションプランが個人記録に書かれているので分かりやすい すぐにできる「～したい」には応えている 個人的な「～したい」に対応できていない(1対1の支援は業務調整が難しい) ニヤリホットの記入ができていない(ニヤリホットはその場で発信するだけで記入が出来ていない) シフトの調整を依頼できていない
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること すべての利用者の「～したい」を聞き取り、実現ができていない(計画が遅くシフトの調整ができていない) 個人記録にゴールが書かれていない利用者のは分からない、古くて更新できていない(活動的でない利用者に対する関わりが難しい) 外出など計画や準備が必要な事に対応が出来ていない(時間がとれない) カンファレンスで話ができていないことは実現ができていない(発信が少ない利用者の要望が届かない) 「～したい」を記入するシートはあるが、その情報を実現させる取り組みができていない(取組すべきことを誰かがしてくれると思い各自から実践につなげる行動がとれていない、一部の利用者の希望しか実現できていない) 利用者の方の発言が理解できないことがある(何をしたらいいか分からない)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 経過記録担当が利用者の「～したい」を聞き取りミーティングで検討し、毎月誰かの「～したい」を実現できるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年 9月18日(20:53~21:08)

3. 日常生活の支援

メンバー 西森 栗国 客 山中(常勤) 渡部 林 久 米

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	4人	1人	11人

前回の改善計画	
個人記録に気づきを1日1個は記入する	
前回の改善計画に対する取組み結果	
気づきを意識的に書いている職員と書かない職員とに分かれている。毎日書かれていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	8		11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	2	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の変化に対しすぐに柔軟な対応ができている 食事や排泄など利用者に合わせて対応が出来る 体調の変化など業務日誌に記入し共有できている 本人、家族と相談し受診や泊りを提案している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員には、訪問したことがある利用者で行った事が無い利用者があり紙面だけの情報では対応できないことがある(シフト上同行が組めない) 入用介助についてはご利用者本人のレベルにあっていないことがある(介護用具の不足、出来る事を職員がしてしまっている) 気づきを書いているのは一部の職員のみ、気づきが白紙の事がある(記入する時間が無い) 以前の暮らしや生活歴を知らない(本人、家族とじっくり話ができていない、情報の読み込みができていない) 声にならない思いのくみ取りができていない(目の前の事しか見えておらず、利用者の気持ちに目を配れていない) 小さな気づきがなし崩しになっている(後回しにしてしまっている)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
生活歴を聞き取り毎日のミニカンファで得た情報を共有する。 ミニカンファで今日の気づきを出し合い記録をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月16日(20:13~20:20)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 西森 栗国 山中 山本(常勤) 林 渡部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	4人	人	11人

前回の改善計画	サービス時間外の生活を知る 「～したい」「～に行きたい」を知る ドライブや外出、外食で利用者の馴染みの場所に行く
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス時間外の生活については一部の利用者しか情報が得られていない。「～したい」「～に行きたい」に関しては、情報は得られているが、実践につなげる事ができていない。年間行事となっているドライブや外食は、継続して実践できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	3		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		10	1		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	5		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	3	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>生活歴や交流関係については、通いの時や送迎の会話の中で聞き取ったりしている。                  外出、外食など早めに計画を立てて実施できている                  利用者、家族との関係性は良好である 休日の過ごし方の聞き取りができている                  利用者と一緒に寿会(来住町内会の集まり)に参加している イベントの声かけはできている                  独居の方は民生委員の協力を得ている                  関わりの多い職員から情報を得ている                  季節に応じた外出が出来ている</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>家族間の関わりを全利用者に関して把握はできていない(踏み込んだ情報収集が出来る関係性になっていない)                  外出やドライブなど一部の利用者しかできていない(車両、人手の問題)                  民生委員との交流や地域資源の活用が一部の職員しかできていない(関わる機会が無い、調べていない)                  利用者の近所付き合いについて把握できていない(生活歴を聴きとれていない)                  情報はあっても職員間で共有しきれていない(ケアマネに任せきりになっている)                  利用者の馴染みの場所に行けていない(時間の確保が難しい、聞いていても後回しになる)                  地域行事への参加が出来ていない(利用者の地域が広範囲で、一人一人の地域行事への参加は難しい)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
毎月1日可能な利用者全員で一気に外出する計画を立て、実践する(利用者の馴染みの場所へ)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和1年10月16日(20:20~20:26)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	西森 栗国 山中 山本(常勤) 林 渡部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	5人	人	11人

前回の改善計画	出勤した職員は、通いで来られた方全員と必ず会話し、内容を記録に残す 来住地区の地域資源の情報収集を行い、ミーティングなどで呼びかけ行事に参加する
前回の改善計画に対する取組み結果	出勤時に通い利用者全員と会話をする事は、送迎や訪問で事業所不在の多い職員の実践は難しかったが、事業所に対応している職員やリーダーは、ほぼ実践できていた。 来住地区の地域資源に関して、情報は得られてきているが、利用者や職員状況など予定変更することが多く、利用や行事参加には至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	3	6		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	3			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	7			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域マップを玄関に掲示し、みんなに活用してもらえるようにしている ご本人の体調やご家族の都合などに合わせてサービスの変更・調整している(急な通いや泊りなど) 通いの際の予定もご本人の希望に合わせている(入浴や自宅での掃除など) 決めつけずそのときに合った支援ができています 来住の地域行事(清掃や避難訓練など)に参加している 職員間の情報交換で利用者の <b>じゃ歌いに合わせた関わり</b> がもてている
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 記録の見直しが出来ない ミニカンファが毎日できていない(できていなくても職員が自分で言えない) 自事業所だけで支えている(地域に出向いたり目を向けたりする時間が無い) 地域資源をうまく使えていない(地域資源を把握できていない) 食事や泊りなどの対応ができることをしてもらわず、お客様扱いになっている(何でも受け入れている) 本人と利用者地域との関わりが途絶えている(各利用者の地域の行事になにがあるかわからない) 支援の見直しが必要な方がいる
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 計画を立てて予定変更で実践できなかった場合は、代替え案を立て、後日実践できるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月16日(20:26~20:35)

6. 連携・協働

メンバー 西森 栗国 山中 山本(常勤) 林 渡部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	人	11人

前回の改善計画	「てとてのおもてなし」をホームページに載せて、てとてを知ってもらう 来住のイベントで事業所に来られた方と積極的に交流し顔なじみになる
前回の改善計画に対する取組み結果	「てとてのおもてなし」をホームページに載せておらず、認知度の低さからか参加者がほとんどいなくなった。来住のイベントに職員も参加することで地域の方と交流を持つ機会ができてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	8	1	1	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	9		1	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	5	3	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	4	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の防災訓練や清掃に参加している てとてのおもてなしを開催している 久米中学の職場体験を受け入れた 地域へ新聞を配布している 利用者を訪ねての来客がある 寿会へ参加している 福祉用具の利用がある 各種研修に参加している 管理者ケアマネが会議や行事に参加している 事業所へはいつも同じ方が来られるため、顔なじみになれた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
イベントへの参加が少ない(参加できる職員とできない職員がいる) 地域への行事に一部の職員しか参加できていない(シフトの関係、ケアマネや管理者に任せてしまう) おもてなしに参加して下さる方が少ない、近所の方がなかなか来られない(知られていない、発信不足) 地域のイベントに誘われない 他者とどんな関わりがあるのかを理解できていない職員がいる ホームページの検索に時間がかかる(おもてなしがのっていない) 利用者以外の高齢者や子供はあまり訪れない(知られていない) イベント以外では地域の方との交流が持てていない 利用者も「しんどい」理由で参加できなくなった方が多い	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「てとてのおもてなし」をホームページに載せて、来られた方には次回直接案内をさせていただきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月16日(20:35~20:47)

7. 運営

メンバー 西森 栗国 山中 山本(常勤) 林 渡部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	2人	人	11人

前回の改善計画  
普段、家族が来所した時に意識的に関わり、交流、情報収集をする

前回の改善計画に対する取組み結果  
ご家族が来所される機会が増えているが、積極的に関わりが持てる職員と用事が無いと関わりが持てない職員がおり、全職員が目的を持って関わりが持てるようになることが課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6	4		11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	2		11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	3	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	3	3	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
苦情はすぐに報告し対応、再発防止について話し合いができている  
運営推進会議に地域の方が参加し、意見交換している(防災の事などの情報を頂いている)  
家族アンケートをとり、改善点を把握修正している  
ミーティングやミニカンファで意見交換できている  
家族来訪時に普段の過ごし方を報告し、支援内容の見直しを行っている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域の方が遊びに来る事が無い  
会議やイベントに家族の参加が無い(意見を聞けるタイミングが無い)  
地域の方からの意見の反映ができていない(地域の方との交流が少ない)  
情報が伝達のみで伝えきれない事がある(関心が薄い)  
地域の方からの意見や苦情をあまり知らない(管理者以外の職員が運進に参加できていない)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
毎年実践できている定期的な行事(お花見、動物園、イチゴ狩りなど)にご家族も参加できる取り組みをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月16日(20:47~20:53)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 西森 栗国 山中 山本(常勤) 林 渡部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	1人	11人

前回の改善計画  
研修係を中心に、研修参加後の取組みを継続し振り返りを行っていく

前回の改善計画に対する取組み結果  
研修参加の報告はできているが、取組みができていない場合とできていない場合がある。取組み振り返りができる手順を作っていく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9	2			11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	2		11
③	地域連絡会に参加していますか	2	4		5	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	1		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
全職員が会社内外の研修に参加している  
ミーティングで研修報告をしている  
ミーティングでリスクマネジメントについて、不適切なケアについて話し合っている  
事業所相互研修に参加している(管理者同士もある)  
ヒヤリハットノートで情報を共有している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
連絡会への参加は限られた職員のみ(参加する時間がとれない、参加した職員からの報告が無い)  
ミニカンファの回数が少ない(職員の動きがバラバラで時間がとれない)  
資格取得ができていない(取得する意欲が無い)  
継続的なリスクマネジメントや研修の振り返りができていない(単発の実践はできるが、継続が難しい)  
勉強会ができていない(しようとする意欲が無い)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
毎月職員がペアを作り、10分~15分程度で、職員が講師(研修目標に準じて)となり勉強会を実施する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月16日(20:53~21:05)

9. 人権・プライバシー

メンバー 西森 栗国 山中 山本(常勤) 林 渡部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	1人	人	11人

前回の改善計画	職員の精神的な余裕がない時は、他の職員に変わってもらうなど、自分のマインドコントロールができるよう全員で協力し合う
前回の改善計画に対する取組み結果	職員が利用者の対応が難しいタイミングで他の職員に交代することは実践できている。夜間や日中など職員一人の時の対応については引き続き考えていきたい。不適切なケアについては毎月振り返りを継続している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	2			11
②	虐待は行われていない	7	4			11
③	プライバシーが守られている	3	7	1		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	6	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束やあきらかな虐待はない 職員同士の声かけ対応ができている 身体拘束や虐待(不適切なケア)について研修に参加したり勉強会をしたりしている 強い口調になったり、話を流したりしてしまう事がある(自分に余裕がないと相手に合わせる事ができない) 事故後の話し合いができている
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の前で業務連絡や相談はしないようになっているが、つつい介助の途中で利用者の前で話をしてしまう(習慣化してしまっている) トイレでのプライバシーが守られない時がある 浴室の脱衣所を開けると丸見え(鍵のトラブル、カーテンやパーテーションがない) 利用者や個人情報が守られているか疑問な時がある(余計な事を話してしまう) 成年後見人制度を使った事が無いので知識不足(学習が必要) 大声でのトイレや入浴の声掛け、トイレや浴室を勝手に開ける(鍵がすぐ壊れる、フロアが狭い) 個人情報、記録をフロアに置いたまま場を離れる(急な対応などでそのままにしてしまう) 「ちょっとまってください」とつい言うってしまう
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 不適切な声かけに関して、言い方を変える勉強会(訓練)をしたり、難聴の方へ声声掛けの内容を書いたカードを準備し、それを見せたりする事でプライベートなことなど周囲に聞こえないようにする。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クロス・サービス	代表者	岡部 純二	法人・事業所の特徴	ご利用者一人一人の人格を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続出来るよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、ご利用者の心身の状況、希望および、その置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス及び、宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援する
事業所名	小規模多機能ホームてとて	管理者	西森 洋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	2人	人	1人	3人	1人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画を職員全員が理解し、年間を通じて実践できる 改善計画に対する取り組みをミーティングで評価し、運営推進会議で報告する	改善計画は、掲示し可視化した が、毎月ミーティングで全項目に 関しての評価はできていない。月 行事計画になっているものは振 り返りができていた。	・自己評価として「できていない」 項目が多いのは、無理な目標にな っていたということですね。今回 の改善計画は、実践可能な内容に レベルを落としたという認識で いいのでしょうか。 よくわからない	改善計画を職員全員が理解し、年 間を通じて実践できる 取り組みの評価を運営推進会議 で報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	「てとてのおもてなし（奇数週の 第3日曜日開催）」を継続し事業 所の存在を知ってもらえるク工 夫をする	開催の継続はできており、参加者 を増やす工夫について職員間で 話し合い実践しているが、効果は 見られず、参加者がいない状況が続 いている。	・事業所に関わりのない方は、自 由には入りづらいので、普段から 声掛けをするなど、地道な努力が 必要ではないか。 ・チラシ配りの際に、1枚ずつで はなく、複数枚配り、知り合いに も渡せるようにしてみてもどう か。	「てとてのおもてなし（奇数週の 第3日曜日開催）」を継続する。

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民も巻き込んで案内できる方法を考えてはどうか。</li> </ul>	
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事への参加	<p>清掃や利用者が参加される時に寿会への参加はできているが、他の行事参加はできていない。参加可能なところからいかに地域の方と関係を作るかに焦点を当てて考え、実践していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除とか防災訓練などに参加しているので、継続してほしい。</li> <li>・ここ（来住）には複数の事業所があり、てとてがどんな事業所であるか、地域行事に参加していない方にはわかりにくい。</li> <li>・その問題はどこの事業所でも取り組んでいるが難しい問題。</li> </ul>	地域の清掃や防災訓練へ参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事に利用者が参加する機会を持つ	<p>利用者の自宅の地域行事に関しては、情報収集ができず、利用者も参加の希望がないため、実践できていない。まずは、行事を知り、参加の意向を利用者に確認するところから実践していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来住の行事には、参加いただきたい。</li> <li>・いい取り組みだと思います。</li> </ul>	各利用者の地域行事計画の情報収集を行い、参加の意向を確認する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事例検討を通じて困りごとを相談できる機会を持つ ご家族に参加してもらえる工夫をする	<p>地域の利用者の情報発信と協力の依頼はできたが、地域の方の困りごとについての情報や意見交換はほとんどできなかった。事業所のサービスありきの発信ではなく、事業所でのサービス外であっても、他の支援につなげられるような相談しやすい関係づくりをしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて参加したものには、進捗がわからない。わかるものを提示してほしい。</li> <li>・地域の困りごとについては、意見交換する機会が少ないと思う。こちらからも情報を出せるようにしていきたい。</li> </ul>	事例検討を行い、小規模のサービスについて知ってもらい、地域の困りごとを相談してもらう機会を持つ。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>毎月の避難訓練の継続 地域の防災訓練に参加し、事業所の役割を伝え、知ってもらう 事業所の避難訓練に地域の方にも参加してもらう</p>	<p>毎月想定を変えながら、避難訓練は実践できている。利用者は、習慣化し、混乱なく行動できる状況になってきているが、職員がなれ合いで、必要な行動が取れない場面もあり、毎回効果的な実践ができるようにしていきたい。 地域の方との関係づくりを課題とし、日々協力し合える体制作りを考えていきたい。事業所の職員を知ってもらえる工夫を考えていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月訓練を実践されていることは、報告できている。</li> <li>・事業所がどんな場所か、地域の人がかかっている。そのため、事業所がいざというときにどのような役割を担えるのかのイメージがつかない。防災ということに捉われず、地域の人との関係づくりをどうしていくかを考えていく必要があるのではないか。</li> </ul>	<p>毎月の避難訓練を継続する。</p>
----------------------------	---	---	--	----------------------